

# 平成27年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

当園ではこの度、平成27年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

身体も心ものびのびと過ごせる、情操と知育を総合させた教育を目指しています。  
きちんとした価値観やモラル心を身につけること。それが心身を健やかに成長させ、子どもの未来を創る原動力となります。

保育をする上では、「徳育、知育、体育、国際化（英語教育）」の4つの理念を大切にし、その中で息づく「こころ」を育てる教育を実践しております。

きちんとしたモラルの心を身につけ、親孝行で将来社会の役に立つ人として育てていくよう、教諭、講師、職員で力をあわせ、お子様たちの保育をすすめてまいります。

## II. 今年度の重点目標

- 園内研修の充実
- 教職員の資質向上
- 安全管理体制の充実
- 保育参観について

## III. 自己評価項目と取り組み状況

自己評価項目		取り組み内容	
1	園内研修の充実	B	定期的に音楽研修や絵画研修を受け、研修に参加することで新しい知識やアイデアの幅の広がり、今後の改善点は見えてきているが、他の行事との兼ね合いや従来の方法もあり、新しいことに挑戦するまでには至っていない。研修で感じた楽しさや技法を伝える仕組みが必要であると考えている。園外研修に関してはスケジュールリングが課題となるが時間を有効活用し、受講を検討する。
2	教職員の資質向上	B	反省会はすぐに行えているため、次年度に活かせる仕組みはできている。しかし、内容に関しては意見が十分に出ているとは言えない状況にある。意見を引き出す方法として、漠然とした質問を繰り返すのではなく、雰囲気作りも含め、どうすれば意見を引き出すことができるのかを検討する。

# 平成27年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

自己評価項目		取組み内容	
3	安全管理体制の充実	園児にとって安全な環境を整え、安心して園生活が行えるようにする。	B 鉄棒や一輪車などケガをしやすい遊びの時は教職員の誰かが必ず見守り、声掛けを徹底し、危険が孕んでいるところに関してはその都度報告するように努めた。今後としては老朽化している設備や玩具に関して、ケガをするもととなりやすいので、判断基準を設けて修繕と、整理整頓を検討する。
		避難訓練の回数の増加と、それに対して反省する点を共有する。	B 消防の映画や消防車を見たりして、火事について具体的に意識できたり、防災頭巾をかぶっての訓練など、災害に対する危機意識は高まったように思う。避難訓練に関しても雰囲気作りから行っており、常に本番の緊張感を持って行っている。さらに避難訓練の精度を高めるために決まった時間設定で行うのではなく、園児には伝えずに行うなど、災害はいつ起こるか分からないという意識を高めていく。
4	保育参観について	保護者からの様々な意見を参考にしながら、改善していく。	A 保護者から頂いた指摘に関してその都度対応でき、学年に応じた内容で取り組むことができたように思う。給食参観では苦手な食べ物を頑張って食べようとしている姿を見ることができてよかったという声を頂くこともできた。文字指導を行い、書き方や姿勢を指導することができたので非常に有意義だったと言える。引き続き保護者からの要望を聞きながら、園として何を実行すれば最善なのかを検討しながら取り組んでいく。

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

## IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の質の向上	月に1回の研修以外にも教職員が学べる機会を増やす。
		目的を強く意識し、最小限の回数で最大の効果があるミーティングを目指す。
2	安全管理体制の充実	災害への意識を高めるための取組や避難訓練の回数や内容について検討する。
		遊具まわりに関する安全を徹底できる仕組みを検討する。
3	保護者対応	保護者から頂いた意見や定期的な情報の発信によって信頼関係を築ける取り組みを行う。

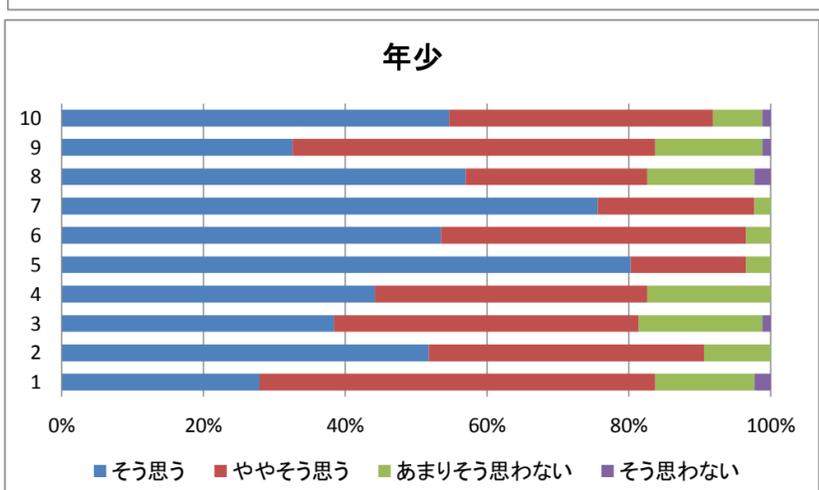
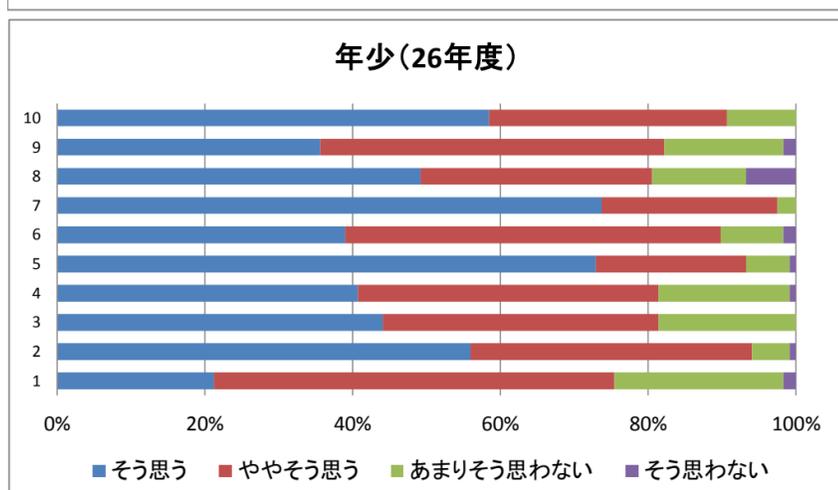
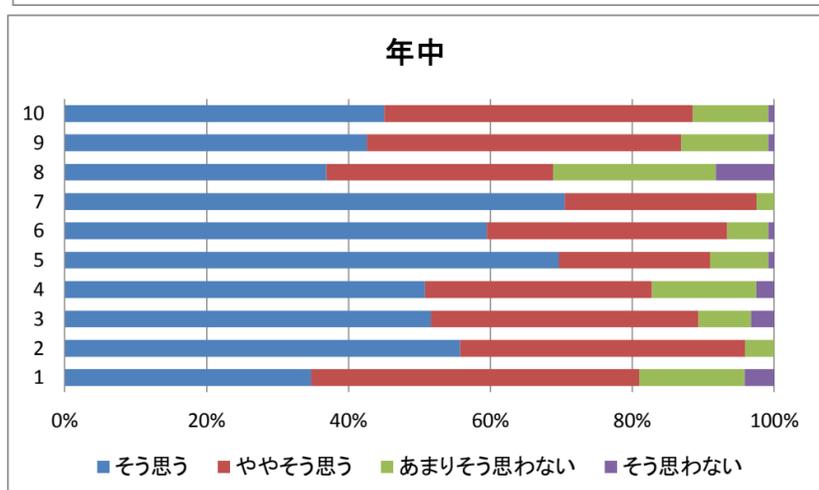
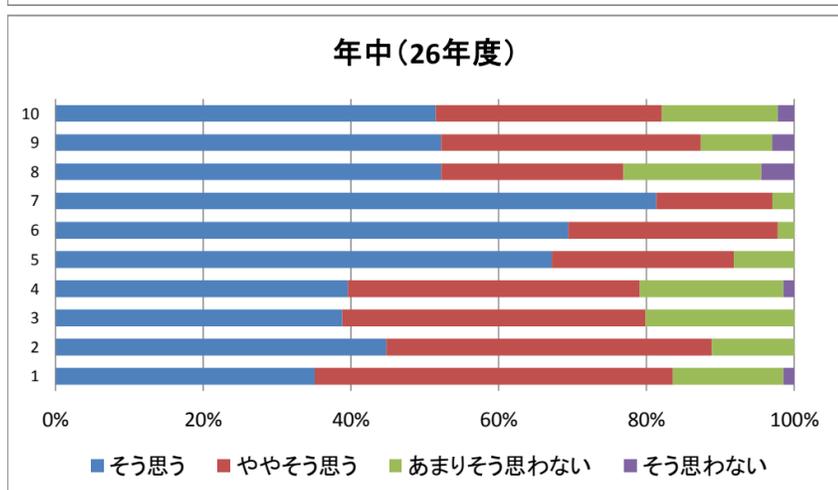
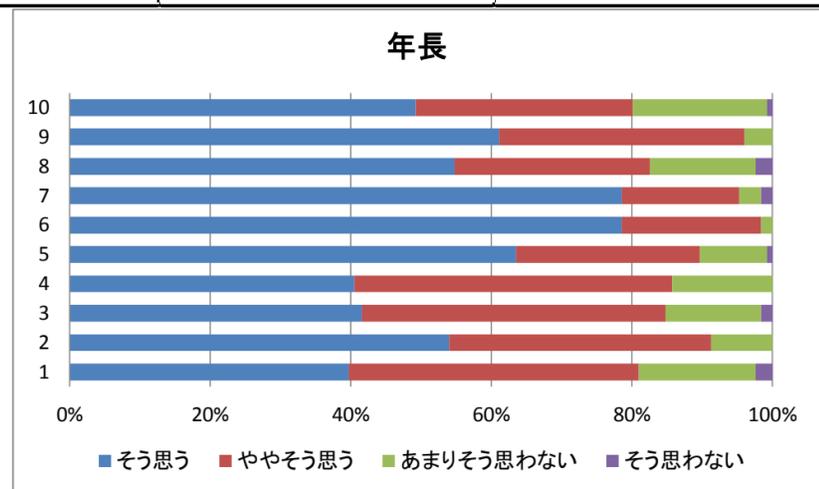
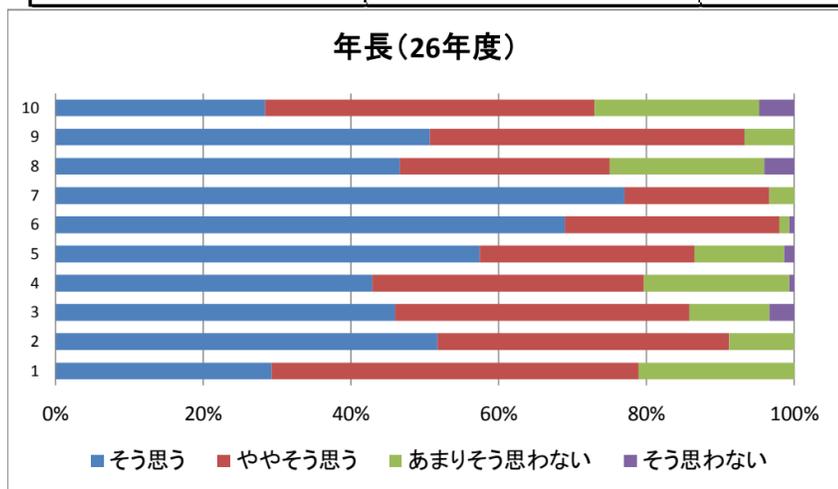
# 平成27年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

## V. 保護者アンケートの結果

### ■アンケートの集計結果

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5
お子さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？(ありがとうの言葉など)	お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お子さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？	お子さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？	お子さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらおうという姿勢が見られますか？
質問6	質問7	質問8	質問9	質問10
お子さんは、集団生活の基本(順番を守るなど)がきちんとできていますか？	お子さんは、体育活動(跳び箱、縄跳び、鉄棒、ボールなど)を楽しみにしていますか？	お子さんは、プール活動を楽しみにしていますか？	お子さんは、体育活動やプール活動を通じて、体が丈夫になったと思いますか？	お子さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？



■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)

◇項目1

全学年で80%台の結果は、恥ずかしさや戸惑いを感じながらも誰にでも自分から挨拶をする習慣が身に付きつつあると思われます。身近な人に対してだけでなく、幼稚園では来客や近隣の方への挨拶の指導もしています。今後、ご家庭でもさらにお子様の積極性を引き出せるよう幼稚園と共に指導の徹底をお願いしたいと思います。

◇項目2

全学年で90%を超え、お子さまの感受性の豊かさは非常に大切であると思います。大人では見過ごしがちなこともあります。日々の園生活の中で一人一人の感性を把握し、色々な事に美しい、楽しいと感じ、興味が感じられるような気持ちを育ていけるよう見守っていききたいと思います。

◇項目3

全体的にできています。恥ずかしい等お子さまの性格差、学年差はあるものの幼稚園では先生の目を見て話す、聞く指導を今後も粘り強く徹底していききたいと思います。

幼稚園では子どもの視線を引き付ける変化や工夫も実践しています。ご家庭でも普段の会話の際お子さんの目を見て話す、聞く意識を持ってコミュニケーションをとって頂ければと思います。

◇項目4

幼稚園では、先生のお手伝いやお当番を通して、皆のために与えられた責任を果たすやりがい、ほめられることで必要とされる喜びが体感できるように指導しています。家庭でもお手伝いをしてもらう機会を多くし、感謝の気持ちを十分に伝えていただくことで、人に喜んでもらえる・必要とされているとお子さんに感じてもらう機会が増えればさらに積極的な行動につながるかと思えます。

◇項目5

全学年で本に触れあう意識が持っているといます。ただ進級と共に興味の対象が多くなり、本に触れ合う機会の減少が懸念されます。当園子ども文庫の3千数百冊に及ぶ蔵書に触れ合う機会を今後もできるだけ多く持ち、テレビ等では得られない新たな知識や興味そして感受性等を培っていただければと願っています。今後もさらに蔵書内容の吟味、充実を図っていききたいと思います。

◇項目6

全学年とも非常に高い結果だと思えます。集団生活の中で基本ルールを守る大切さが身に付きつつあると思えます。ご家庭、園での指導の賜物かと思われ。その一方でわずかではありますが、できていないとの回答に対して、本の少数が全体の集団生活の基本を乱すことも踏まえ、今後とも園でも家庭でも粘り強い指導が必要と考えています。

◇項目7

毎年、全学年で95%以上と高い結果が得られています。園目標の柱の一つである体育を通しての体力づくり、一輪車や鉄棒など目標に向かって繰り返し努力し、その過程での先生との一体感、そして達成する喜びを子ども達に感じてもらえる指導を今後も実践していきます。

◇項目8

全体で約80%がプール活動を楽しみにしているとの回答ですが、年中がやや低くなっています。目や耳に水が入り、呼吸がしにくい等の恐怖感があると思われ。進級の基準も明確な為、達成感が感じられるよりも、自身が思うように結果が出ないことも一つの要因かと思えます。今後ともプールが楽しみになるように、さらに挑戦意欲が継続できるよう工夫していききたいと思います。

◇項目9

特に年長で96%と高い評価を得られています。3年間の体育、プール活動を通じての結果、体が丈夫になったと感じていただきうれしく思います。

年中、年少での実感は今一歩ですが成長の過程であり、3年間継続することで進級と共にきっと実感して頂けると確信しています。

◇項目10

全体的に英語に対する興味が感じられますが、若干年長で関心が薄れる傾向にあります。英語での歌や手遊び、ゲーム等を通してネイティブ英語に触れることで、発音や身近な英単語等が身に付けられると思います。又、アルファベットが書けるような取り組みも考えていききたいと思います。楽しく学べる工夫をさらに心掛けていききたいと思います。

### ■その他ご意見等に対する所見・対応

多くのご意見、要望、感謝の気持ちを記述頂きありがとうございました。  
内容の殆どが当園の教育理念・教育方針に対してのご理解とお子さんの成長に対する喜びに関することでした。  
その他個別の要望が殆どで、今後検討した上で、改善できることは段階的に対応していく予定でございます。

## VI. 学校関係者の評価

保育参観について保護者からも教諭からも高い評価を与えられたことは、研修や研究を通じて行われている教諭の方々の成果と思われまふ。幼稚園の教育が良好に行われていることを表しています。

安全管理について、園内環境の安全点検、緊急事態についての対応も意識を高め、努力されていることが分かります。今後は預かり保育中に地震が発生した場合、保護者への対応、不審者の侵入など、独自の具体的なマニュアル作りの検討の必要性を感じまふ。

アンケートの項目1と項目8についてわずかですが、否定的な回答があることに何らかの要因の究明と、検討の余地が必要であるように感じまふ。

蔵書数が多く、貸出絵本の機会があり、子ども達にとって素晴らしい環境であると言えます。

園長先生をはじめ、先生方の園児や保護者への対応等、丁寧に真摯に向き合っている様子を常に拝見し、きちんとした価値観やモラルの心などの理念が園児だけでなく、保護者にも届いているように感じまふ。また、先生方の挨拶や、笑顔の様子が園の雰囲気をも明るく楽しく、良い関係を作っていることに感謝申し上げます。

今後の取組みとして教職員の皆様方がどのような研修を受け、教育の質を高めるためにどのような度陸をされているのか、安全管理の取組みについては災害時に保護者が行う対応手順のマニュアルの作成や周知徹底を期待まふ。

担任の先生からの連絡がマイナスの内容だけでなく、プラスの内容も伝えて頂けるので、保護者は安心して子どもを預けることができ、良い関係を築くことができるように思まふ。

以上